

株主の皆様へ

第70期 中間報告書 (第2四半期)

平成27年3月1日 ▶ 平成27年8月31日

東武ストア

(証券コード 8274)



株主の皆様へ



代表取締役社長 丹羽 茂美

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成27年8月31日をもって、第70期（平成27年3月1日から平成28年2月29日まで）の第2四半期（中間期）を終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、政府・日銀による各種政策の効果もあり、景気が緩やかに回復していくことが期待されるものの、中国経済をはじめとした海外景気の下振れなど、わが国経済を下押しするリスクが懸念され、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、依然として業種業態を超えた

販売競争が激しく大変厳しい状況で推移いたしました。また、食品スーパーマーケットは生鮮食品の相場高や食品の値上げ等の影響もあり、売上高は比較的順調に推移いたしました。また、原材料価格の高騰やパート・アルバイト採用難による経費の増加など、経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは前期に2016年度を最終年度とする中期経営計画を策定し、「お客様のより良い暮らしに貢献する」を経営理念に掲げて、最終年度売上高900億円、営業利益率2%達成を目標に全社一丸となって業績向上に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、株式会社東武ストアにて前期3店舗、当上半期2店舗を閉鎖したため、連結売上高は421億15百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は売上高減少による売上総利益の減少及び子会社において人件費をはじめとした経費増により営業利益が前年同期を下回ったことにより、6億22百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は6億62百万円（前年同期比1.4%減）、四半期純利益は株式会社東武ストアにて改装店舗につき固定資産除却損を、一時休業して建替える店舗につき減損損失を特別損失に計上したこと等により、1億34百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

詳細につきましては、次ページ以降の事業別営業概況にてご報告させていただきます。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

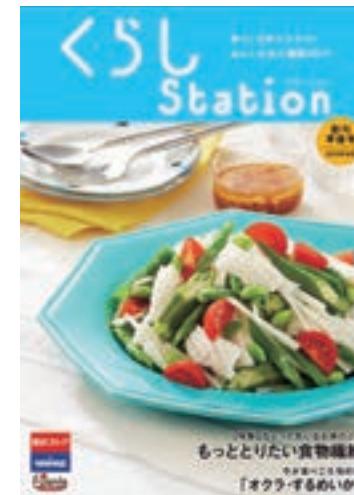
事業別営業概況

1. 小売業 売上高400億87百万円（前年同期比1.7%減）

〔株式会社東武ストア〕

株式会社東武ストアにおきましては、「地域で一番買いやすい店づくり」を目指し「鮮度」「量目」「品揃え」「値ごろ」「匂」「接客」「クリンネス」の7項目の向上に徹底して取り組みました。

販売促進策といたしましては、月に2回徹底した低価格で販売する特売「東武ストアとびっきり市」を更に強化する一方、新たに発行した小冊子「くらしStation」での「健康を生み出す食」をテーマとした情報発信の強化、及び地域一番の商品と売場を提供するスペシャルカテゴリーの選定と展開により集客の向上を図るとともに、平成27年7月よりお客様に「あてになる店づくり」を目的に毎日



新たに発行した小冊子「くらしStation」

決まった時間に決まった商品がある店づくりに徹底して取り組みました。

また、株式会社Tポイント・ジャパンとTポイントプログラム及びTマネーサービス導入に関する契約を締結して、Tポイントサービス及びTマネーサービスの第3四半期導入に向

けて準備を開始いたしました。

その他といたしましては、既存店活性化のため平成27年3月にみずほ台店（埼玉県富士見市）の全面改装を行いました。また、平成27年6月30日下赤塚店（東京都板橋区）を店舗建替えのため一時閉鎖、同年7月20日鳩ヶ谷店（埼玉県川口市）を閉鎖いたしました。なお、桶川店（埼玉県桶川市）を同年8月16日より休業し大型改装に着手いたしました。



当社おすすめで人気のお惣菜「贅沢なデミグラスハンバーグ」



改装で更に品揃えが充実したみずほ台店惣菜売場

その結果、株式会社東武ストアの売上高は398億81百万円（前年同期比1.7%減）で、前年同期を下回るものの、積極的な販売促進策の実施により既存店売上高は2.3%増、営業利益は電気使用量等の経費削減効果により6億13百万円（前年同期比3.0%増）、経常利益は6億30百万円（前年同期比3.7%増）で増益を達成することができました。

〔株式会社東武フーズ〕

株式会社東武フーズは、当社店舗を中心にファストフード店、インスタペーカー等を運営し、チャンスロスの防止、店舗オペレーションの効率化による収益力向上に努め、安定した利益を確保できる企業体質の強化に継続して取り組みました。



株式会社東武フーズが運営する
インスタペーカーショップ

2. その他 売上高20億27百万円（前年同期比3.7%増）

その他といたしましては、子会社の株式会社東武警備サポートが警備業、メンテナンス業、人材派遣業等を行っております。同社では、新規取引先の開拓、経費削減等に注力し、業容拡大と経営効率の追求に継続して取り組みました。

当第2四半期における売上高の部門別内訳は次のとおりであります。

部 門	売上高	構 成 比	前年同期比
小売業	百万円	%	%
加工食品	16,585	39.4	△ 1.6
生鮮食品	16,464	39.1	0.9
(食品計)	(33,050)	(78.5)	(△ 0.4)
衣料品	1,410	3.4	△11.6
生活用品	1,234	2.9	△ 4.9
商 事	52	0.1	△25.3
専門 店	4,339	10.3	△ 6.5
小 計	40,087	95.2	△ 1.7
その他			
警 備 業 等	2,027	4.8	3.7
合 計	42,115	100.0	△ 1.5

通期の見通し

連結業績見込

売上高	840億円（前期比 1.6%減）
営業利益	10億円（前期比 17.0%減）
経常利益	9億70百万円（前期比 23.4%減）
当期純利益	4億円（前期比123.5%増）

下期の主な実施策といたしましては、上期実施の販売促進策を継続して推進するとともに、新たな販売促進策として、平成27年9月にTポイントサービス、同年11月にスーパーマーケットとして初めてとなるTマネーサービスの導入を開始するとともに、常温・冷蔵・冷凍の3温度帯に対応した当日3時間以内の宅配サービス導入店舗の大幅拡大等によりお客様サービスの更なる充実を図り集客と売上の拡大に繋げてまいります。



東武ストアオリジナルデザインのTカード



下期導入店舗を大幅拡大する
冷蔵・冷凍商品も利用可能な宅配サービス

また、店舗活性化策として、平成27年9月に小豆沢店（東京都板橋区）の全面改装を実施、同年10月に当社最大の売場面積を有する桶川店の売場配置を全面的に見直す大型改装を実施し店舗の収益改善を図ります。

以上の諸施策の実施に注力し、東武ストアグループ一丸となって業績向上による企業価値の向上に取り組んでまいります。

第2四半期決算の概要（連結）

■四半期連結貸借対照表（要旨）

科 目	当第2四半期末 (平成27年8月31日現在)	前第2四半期末 (平成26年8月31日現在)	前期末 (平成27年2月28日現在)
	百万円	百万円	百万円
(資産の部)			
流動資産	11,181	12,174	12,664
固定資産	22,197	23,618	23,060
有形固定資産	13,730	14,792	14,230
無形固定資産	153	198	176
投資その他の資産	8,313	8,628	8,652
資産合計	33,378	35,793	35,724
(負債の部)			
流動負債	6,651	7,296	7,222
固定負債	6,241	5,505	5,971
負債合計	12,893	12,801	13,194
(純資産の部)			
株主資本	24,198	26,437	26,267
資本金	9,022	9,022	9,022
資本剰余金	5,956	7,442	7,442
利益剰余金	9,311	10,047	9,879
自己株式	△ 91	△ 74	△ 75
その他の包括利益累計額	△ 3,713	△ 3,445	△ 3,737
その他有価証券評価差額金	24	△ 1	19
土地再評価差額金	△ 3,444	△ 3,444	△ 3,444
退職給付に係る調整累計額	△ 293	—	△ 312
純資産合計	20,485	22,991	22,530
負債及び純資産合計	33,378	35,793	35,724

ポイント①

ポイント②

ポイント③

ポイント①

当第2四半期末の資産合計は前期末に比べ23億46百万円減少し33億378百万円となりました。預け金が5億69百万円、有形固定資産が5億円、現金及び預金が4億26百万円、退職給付に係る資産が1億99百万円それぞれ減少したこと等が要因です。

ポイント②

当第2四半期末の負債合計は前期末に比べ3億1百万円減少し12億893百万円となりました。退職給付に係る負債が3億88百万円、買掛金が2億55百万円それぞれ増加しましたが、未払消費税等が4億4百万円、未払法人税等が1億47百万円、資産除去債務が1億65百万円、リース債務が84百万円それぞれ減少したこと等が要因です。

ポイント③

当第2四半期末の純資産合計は前期末に比べ20億45百万円減少し20億485百万円となりました。自己株式の消却により資本剰余金が14億85百万円減少、退職給付に関する会計基準の改正により期首利益剰余金が3億62百万円減少、四半期純利益1億34百万円の計上、剰余金の配当3億39百万円の支出等が要因です。

■四半期連結損益計算書（要旨）

科 目	当第2四半期 (平成27年8月31日まで)	前第2四半期 (平成26年8月31日まで)	前 期 (平成26年3月1日から 平成27年2月28日まで)
	百万円	百万円	百万円
売上高	42,115	42,739	85,334
売上原価	30,122	30,506	61,023
売上総利益	11,992	12,232	24,311
販売費及び一般管理費	11,369	11,586	23,105
営業利益	622	645	1,205
営業外収益	75	67	143
営業外費用	35	41	81
経常利益	662	672	1,267
特別利益	56	—	45
特別損失	275	32	806
税金等調整前四半期(当期)純利益	443	639	505
法人税、住民税及び事業税	80	194	465
法人税等調整額	229	96	△ 139
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	134	347	179
四半期(当期)純利益	134	347	179

ポイント④

ポイント⑤

ポイント④

当第2四半期の連結売上高は、前期3店舗、当上半期2店舗を閉鎖したため、前年同期比1.5%減となりました。営業利益は売上高減少による売上総利益の減少や子会社の人件費をはじめとした経費増により前年同期比3.6%減、経常利益は1.4%減となりました。四半期純利益は株式会社東武ストアにて改装店舗につき固定資産除却損を、一時休業して建替える店舗につき減損損失を特別損失に計上したこと等により前年同期比61.4%減となりました。

ポイント⑤

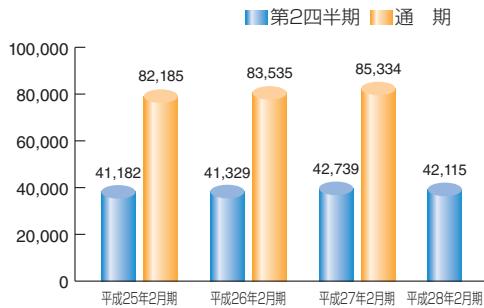
当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は前期末に比べ9億95百万円減少し、70億93百万円となりました。(営業活動によるキャッシュ・フロー) 営業活動の結果得られた資金は13億26百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億43百万円、減価償却費7億1百万円、仕入債務の増加額2億55百万円等によるものです。(投資活動によるキャッシュ・フロー) 投資活動の結果使用した資金は4億2百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得に係る支出3億85百万円等によるものです。(財務活動によるキャッシュ・フロー) 財務活動の結果使用した資金は19億19百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出15億1百万円、配当金の支払額3億38百万円等によるものです。

■四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

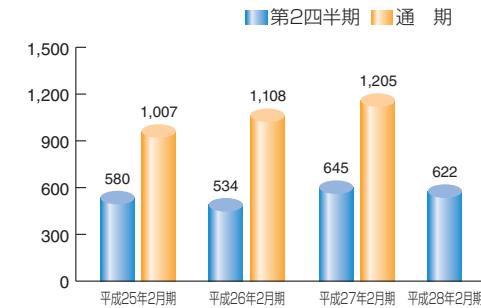
科 目	当第2四半期 (平成27年8月31日まで)	前第2四半期 (平成26年8月31日まで)	前 期 (平成26年3月1日から 平成27年2月28日まで)
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,326	2,439	3,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 402	△ 393	△ 893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,919	△ 418	△ 498
現金及び現金同等物の増減額	△ 995	1,627	1,848
現金及び現金同等物の期首残高	8,089	6,240	6,240
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	7,093	7,867	8,089

営業成績の推移（連結）

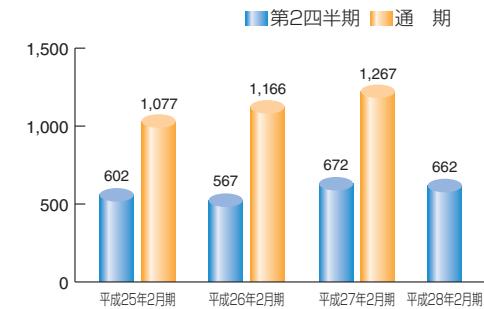
■売上高（単位：百万円）



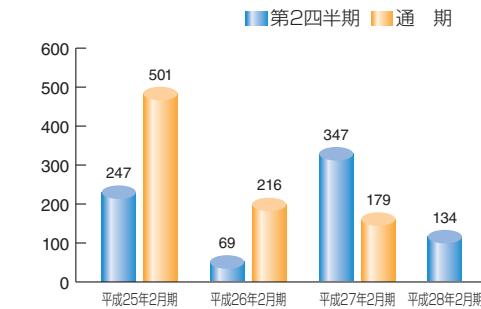
■営業利益（単位：百万円）



■経常利益（単位：百万円）



■四半期（当期）純利益（単位：百万円）



（単位：百万円）

区分	平成25年2月期		平成26年2月期		平成27年2月期		平成28年2月期
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期
売上高	41,182	82,185	41,329	83,535	42,739	85,334	42,115
営業利益	580	1,007	534	1,108	645	1,205	622
経常利益	602	1,077	567	1,166	672	1,267	662
四半期(当期)純利益	247	501	69	216	347	179	134

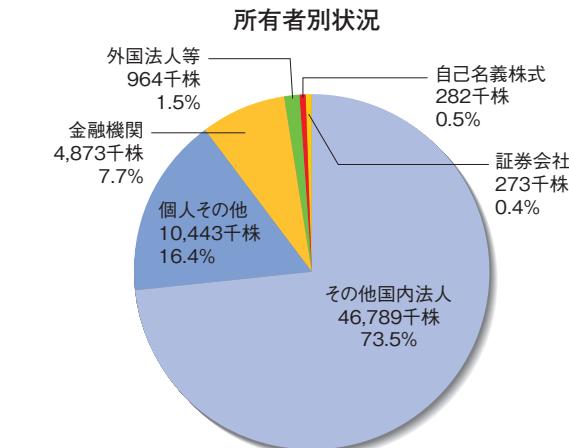
株式の状況（平成27年8月31日現在）

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式の総数 63,626,442株
 （うち自己株式282,102株）
 株主数 5,030名
 大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
丸紅株式会社	21,166	33.4
東武鉄道株式会社	18,575	29.3
東武ストア取引先持株会	2,065	3.2
株式会社みずほ銀行	654	1.0
株式会社埼玉りそな銀行	622	0.9
東武ストア従業員持株会	468	0.7
加藤産業株式会社	453	0.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	429	0.6
フジパングループ本社株式会社	372	0.5
アツギ株式会社	326	0.5

（注）持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布



役員（平成27年8月31日現在）

代表取締役社長	丹羽茂美
専務取締役	高鷺光洋
常務取締役	大浦理
常務取締役	土金信彦
常務取締役	山本秀昭
取締役	榛沢雅己
取締役	小川長治
取締役	増山義高
取締役	近藤喜美男
取締役	多知幸男
取締役	根津嘉澄
取締役	猪森信二
取締役	山崎康司
取締役	小島亜希子
常勤監査役	小浜浩
監査役	平田一彦
監査役	井上広児

会社の概要 (平成27年8月31日現在)

会社名 株式会社東武ストア
本社 東京都板橋区上板橋3丁目1番1号
創業 昭和34年6月1日
設立 昭和35年12月10日
資本金 9,022,000,000円
店舗数 58店
従業員数 781名(男性659名、女性122名)
 上記の従業員数には、出向者42名及びパートタイマー2,337名(1日8時間月170時間換算)は含まれておりません。

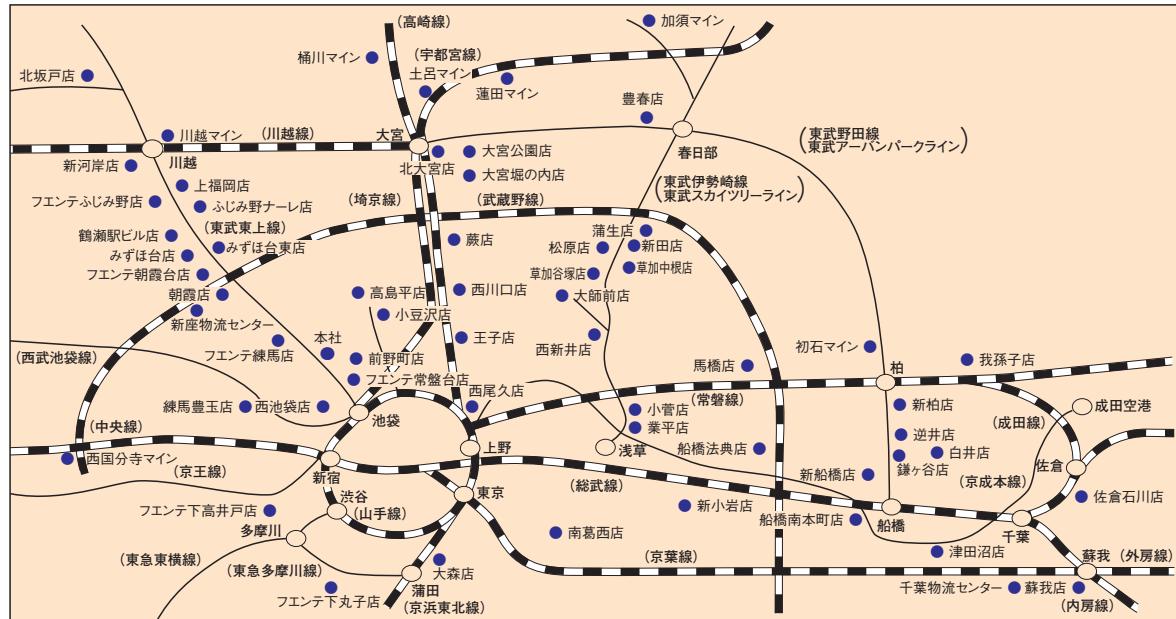
グループ会社

株式会社東武警備サポート
本社
 東京都豊島区西池袋1丁目4番10号
主な事業内容
 警備業・メンテナンス業・人材派遣業等

株式会社東武フーズ

本社
 東京都板橋区上板橋3丁目1番1号
主な事業内容
 ファストフード店・インスタアベーカー等々の運営

事業所の一覧



(注) 上記店舗の他、梅島店(東京都足立区)及び下赤塚店(東京都板橋区)が店舗建替のため一時閉鎖しております。

株式のご案内

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
基準日 定時株主総会の基準日は毎年2月末日とします。
 期末配当の基準日は毎年2月末日、また中間配当を行う場合の基準日は毎年8月31日とします。
 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
公告方法 電子公告の方法により行います。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 千168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

株式に関する お手続きについて

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受領方法の指定等は株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。証券会社に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。
- 特別口座の株式については、特別口座のままでは売買できません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。手続きの詳細は左記記載の連絡先にご確認下さい。
- 未払配当金の支払については、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

株主ご優待

1. 優待基準(株主ご優待券又は図書カードを送付いたします。)

株数	株主ご優待券(券面額100円の割引券)		図書カード	
	年間贈呈額	1回当たり贈呈額	年間贈呈額	1回当たり贈呈額
1,000株 ~1,999株	160枚	80枚	2,000円分	1,000円分
2,000株 ~2,999株	320枚	160枚	4,000円分	2,000円分
3,000株 ~3,999株	480枚	240枚	6,000円分	3,000円分
4,000株 ~4,999株	640枚	320枚	8,000円分	4,000円分
5,000株以上	800枚	400枚	10,000円分	5,000円分

※受領された株主ご優待券又は図書カードは、未使用のまま全て返送することにより、上記優待基準に応じて交換いたします。

2. 株主ご優待券のご使用方法

当社直営売場の商品(当社のレジにて精算する商品)お買物時、現金、商品券及びクレジットカードによる1回のお買い上げ金額(1枚のレシートの消費税込み金額)1,000円以上につき1,000円毎に各1枚ご使用できます。(当社商品券、ギフト券、たばこ及び当社指定の商品を除きます。また、当社店舗内の専門店ではご使用になれません。)



本報告書は、次の方法により記載しております。
 (1) 百万円単位の記載金額は百万円未満切り捨てて表示しております。
 (2) 千株単位の記載株式数は千株未満切り捨てて表示しております。